第4号 平成22年9月1日発行

2010 SEP
NO. 4

まつえ

MATSUECITY COUNCIL
NEWS LETTER

市議会だより

桂島（島根町）

議会をもっと身近に　あなたと市政を結ぶホットライン

目次

6月定例会報告　P2
松江歴史館設置条例などを可決

一般質問　P4
13人の議員が市政について問う

委員会視察報告　P7
まちづくり対策特別委員会　宍道湖・中海問題等対策特別委員会

議会Q＆A・編集後記　P8
「請願」と「陳情」

発行·松江市議会　編集·議会広報等特別委員会

6月定例会 市長提出議案 43議案を審議し原案可決

平成22年6月10日～6月28日

６月定例会では、「松江歴史館の設置及び管理に関する条例の制定について」など、43 議案が原案通りに全て可決、承認されました。可決した主な議案は、高校授業料無償化に伴う松江市立女子高の授業料に係る条例改正案、今年３月末で 50 歳以上の正職員を対象に早期退職者を募る条例制定案などです。また、３月には島根原子力発電所の点検漏れが発覚し、島根原子力発電対策特別委員会、全員協議会を開催し、説明を受けて協議しました。

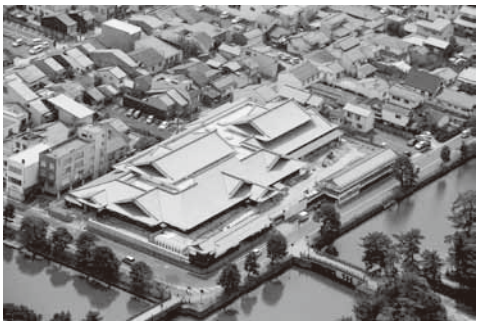
教育民生委員会と宍道湖・中海問題等対策特別委員会での質疑項目や、各委員長報告の中から抜粋してお知らせします。

条例制定し、いよいよ来年３月開館！ 松江歴史館

松江歴史館の設置及び管理に関する条例の制定について審議しました。

博物館法の規定により、教育委員会の所管で設置する条例及び施行規則を制定。歴史館の管理方法は、松江市が初めて設置する近世博物館であり、当面は直営、２～３年後にイベント及び宣伝等事務部門で指定管理者制度導入を目指す。初年度来場者目標は 25 万人。入場料収入 1 億円を目指したい、という基本的な考え方が示されました。

将来にわたり松江市民が誇れる財産となるように



観覧料等

- ○**基本展示**…大人500円、小人250円
- ○**企画展示**…その都度、市長が定める額
- ○**年間観覧**…大人1,500円、小人750円
- ○**使用料**（歴史館及び附属設備使用料）
- ○**特別利用料**（収蔵資料の熟覧、撮影及び借用料）

斐伊川水系の治水対策案、県に了承回答する

宍道湖・中海問題等対策特別委員会では、今後 20 年間の斐伊川水系の治水対策事業を盛り込んだ斐伊川水系河川整備計画（案）について、国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所よりこの計画案の説明や斐伊川水系河川整備計画（案）国管理区間に係る松江市の基本的な考え方の説明を受けて、島根県から松江市への意見照会について協議しました。

最終的に松江市は、計画案には異存はないと、島根県に対して、以下の２点について了承回答しました。

①大橋川改修事業については市民合意形成を図るべくさまざまな取り組みを行ってきたところですが、事業実施による環境への影響、特に「しじみ」など水産資源への影響に対する不安を解消するように、事業着手後も引き続き「環境モニタリング」をはじめ生活再建や周辺整備などさまざまな取り組みを行っていただきたい。

本河川整備計画（案）に示された宍道湖・中海湖岸堤や大橋川の河川整備内容及び事業工程に沿って、早急に事業の進捗を図っていただきたい。

②大橋川改修事業は、松江市街地の内水対策や松江大橋を含めたまちづくり、市民生活への影響など多くの課題に取り組まなければならない最重要課題であることから、関係機関と調整を図りながら事業の推進を図っていただきたい。

請願・陳情の審議結果

請願・陳情の審議結果は下表のとおりです。

件　名		提　出　者	審議結果
請願第２号	日米FTA交渉を行わないことを求める意見書の提出を求めることについて	島根県農民運動連合会 松江市協議会代表　古藤　一郎	不採択 （賛成少数）
陳情第５号	公的保育制度の堅持･拡充と子育て支援予算の増額を求めることについて	全国福祉保育労働組合島根支部 執行委員長　小村　祥子	不採択 （賛成少数）
陳情第６号	現行保育制度の堅持･拡充と保育･学童保育･子育て支援予算の大幅増額を求める意見書の提出を求めることについて	新日本婦人の会松江支部 支部長　柏木　小枝子	不採択 （賛成少数）
陳情第14号	県の福祉医療費助成制度の定率（応益）負担を廃止･撤回し定額負担に戻すことを求める意見書採択について	島根県社会保障推進協議会 会長　池渕　栄助	不採択 （賛成少数）
陳情第15号	安心･安全な公共事業を推進するため、国土交通省の事務所･出張所の存続を求める意見書の採択について	国土交通省全建設労働組合中国地方本部 執行委員長　末永　敦　外１団体	閉会中の継続審査 （賛成多数）
陳情第16号	高齢者への肺炎球菌ワクチン接種の推進と接種への公費助成を求めることについて	肺炎球菌ワクチンを広める会 代表　礒部　威（島根大学医学部教授） 外１団体	採択 （全会一致）
陳情第18号	選択的夫婦別姓制度の法制化に反対することについて	日本の子供の未来を･守る会 伊藤　道子	採択 （賛成多数）
陳情第19号	永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対することについて	日本の子供の未来を･守る会 伊藤　道子	採択 （賛成多数）
陳情第20号	人権擁護法の成立に反対することについて	日本の子供の未来を･守る会 伊藤　道子	閉会中の継続審査 （全会一致）
陳情第21号	子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関することについて	日本の子供の未来を･守る会 島根支部長　妹尾　順子	閉会中の継続審査 （全会一致）
陳情第22号	市民に利用しやすい情報公開の推進を求めることについて	子どもの人権オンブズパーソン 代表　木村　衣月子	不採択 （賛成少数）

意見書提出の審議結果

意見書の審議結果は下表のとおりです。

件　　名		審議結果
委員会提出議案第２号	高齢者の肺炎球菌ワクチン接種への公費助成等に関する意見書について	原案可決 （全会一致）

インフルエンザワクチンについては公費助成の対象となっているが、肺炎球菌ワクチンを追加することで、さらに高齢者の肺炎による入院、死亡が軽減されれば医療費削減、住民の福祉向上につながると確信する。国におかれては高齢者の肺炎球菌ワクチン接種に対する公費助成制度の創設をされるよう要望する。

肺炎球菌ワクチン　現状は・・・

肺炎による松江市の死亡者数は、平成20年に188人、死亡者数の9.6%を占めている。原因別では、がん、心疾患についで３番目となっている。肺炎球菌が原因と思われる肺炎は、28%を占めており、肺炎の入院医療費は１人あたり45万円ぐらいかかっている実態のようである。肺炎球菌ワクチンは、１回の接種で５年ないし10年の抗体維持ができ接種間隔は５年以上あける。インフルエンザワクチンと同時接種が好ましいと言われており、今後接種の効果が検証され、接種拡大と公費助成の広がりが予想される状況である。（教育民生委員会記録一部要約）

市政のここが聞きたい　13人の議員が質問

6月議会　一般質問

6月議会では、6月15日から6月17日までの3日間にわたり一般質問を行いました。
質問をした議員本人が質問をした項目の中からひとつ選び、要旨をまとめたものを掲載しています。

会派代表質問

森脇　勇人（松政クラブ）

- 最近の政治の流れについて
- 新過疎法について
- 少子化・高齢者対策について
- 島根原発、1、2号機で発覚した点検漏れについて
- **新ごみ処理施設稼動に伴う、管理とごみ分別、経費節減について**
- 東出雲町との合併について

質問　新ごみ処理施設稼動に伴う管理とごみの分別　経費節減について伺う

回答　今後ごみ袋料金について他市との均衡を図り改定し料金審議会に諮りたい

維持管理運営については、基本的に民間委託するが、法律上必要な一部の有資格者については松江市が配置する。経費については、現在、額の確定作業を行っている。処理経費節減については、燃やせないごみも燃やせるようになるため、金属などは資源ごみの中に入れて処理していただきたい。資源ごみの分別を徹底し、ごみの減量化を図る。ごみ袋価格については平成12年から据え置いているが、周辺市では燃やせるごみが40円から60円であり、今後ごみ袋料金を改定したい。料金については他市との均衡が要素であり、燃やせるごみ、燃やせないごみなど、一括して一つの袋に入れるものについては一定の値上げをし、資源ごみ袋については据え置きたい。いずれにしても今後料金審議会に諮問したい。

会派代表質問

石倉　茂美（松政クラブ）

- 本市の農業問題について
- **宮崎県の口蹄疫の発生と対応について**
- 大庭空山における諸課題について
- 松江イングリッシュガーデン施設の活用について
- 公民館の執務環境の改善について

質問　宮崎県における口蹄疫の発生と対応について

4月20日に宮崎県において口蹄疫疑似患畜が確認されてから今日に至るまで、多くの牛、豚がその疑いから殺処分対象となり、生産現場では筆舌に尽くしがたい未曾有の事態に直面されており、患畜が確認された農家やその周辺地域における農家の経済的、精神的負担は計り知れず、大きな不安に包まれております。本市としても、一刻も早い万全の対策を講じる必要があると考えますが、所見を伺います。

回答　対策本部の指示のもと防疫等の対応に当たる

島根県内で口蹄疫が発生した場合には、県において現地家畜伝染病防疫対策本部が設置され、その会議の中に、該当市町村、ＪＡ、警察等関係機関が入って、お互いに協力しながら、対策本部の指示のもとに防疫等の対応に当たるということです。

会派代表質問

加本　市郎（公明クラブ）

- 民主党政権について
- **農家の戸別所得補償制度について**
- 改正児童扶養手当法について
- 口蹄疫について
- 新交通システム「LRT」導入について

質問　農家戸別所得補償制度について

この制度に関する問題点、改善すべき点と本市が推進している「そば」対策について伺います。

回答　支給金額と手続き方法について国に要望

全国一律支給ではなく、地域の実情を加味した単価設定が必要だと思います。また、加入手続きが非常に複雑との意見が多く寄せられているので、わかりやすい手続きになるよう国に対して要望しています。「そば」対策については、これまで約四万円の補助制度だったものが、2万7,000円に落ち込むことから、新たに「最低補償基準数量助成制度」を創設し、実質的な農家所得が新規需要米並みとなり、「そば」離れを確保できました。

会派代表質問

津森　良治（市民クラブ）

- 政権交代をめぐって
- 介護保険制度をめぐる問題について
- **新庁舎の建設について**
- 原発問題について
- 山と森林をめぐる状況について

質問　現在の庁舎の問題点と新庁舎建設のお考えはないか伺う

現在の庁舎に手詰まり感が漂い、分散し過ぎていると感じているが問題はないのか。また将来のまちづくりの中に新庁舎建設を含める考えはないのか。

回答　市民が望まないようなものを先に行うのはいかがかと思っている

庁舎は、本館をはじめ9つの建物に分かれている。必ずしも十分な広さとは思っていないが、市民の便宜を第一に考えて、窓口の配置を行っている。また西棟を除いて古い建物となっているが、耐震化工事に合わせて老朽化対策をしていく。新庁舎については、市民が望まないものを先に行うことはない。この問題は十分な時間をかけて、市民の皆さんとの合意を得ることが必要だと思っている。

飯塚　悌子（いいつか　ていこ）（共産党議員団）

- **国保行政の改善について**
- 肝炎対策の確立・強化について
- 子宮けいがん予防ワクチンへの公費助成を

質問　窓口負担減免制度の改善について

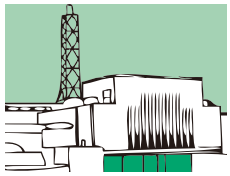
国保法第44条に規定された医療費窓口負担減免制度に基づいて、松江市では要綱が設置されているが、厳しい条件と周知不足のため活用されていないと認識している。2009年7月厚労省は、窓口負担を苦にした低所得者の受診抑制を改善するため、窓口負担減免制度の積極的活用、福祉事務所や病院とも連携した総合的対策の推進を求める通達を出した。松江市の利用状況と課題についてお尋ねしたい。

回答　要綱を改正する予定はない

医療費一部負担減免制度は「国保だより」あるいはホームページ等々で住民周知を図っている。しかし、利用実績はなくて、相談件数が年に1、2件程度ということになっている。現時点では要綱を改正する予定はない。

吉金　隆（よしかね　たかし）（松政クラブ）

- **島根原子力発電所について**



質問　全国の原子力発電所の安全点検について伺う

島根原発だけに点検漏れがあるなら、その事業者の責任は重大であり、松江市民は不安でならない。もし全国の原発に同様のことが起きているなら、原子力発電自体の本質的な問題であるので、国の責任が問われなければならない。保守管理の仕組みは良好でも原子力発電1基に35,000ヵ所の点検に過ちがないということではない。全国の原発における点検状況の早急な報告を原子力安全・保安院へ求めて欲しい。

回答　国の報告を待つ

各電気事業者の保守管理の仕組みに不備はないと報告されている。その内容についても保守管理の仕組みと点検実績に齟齬（そご）がないかは、今後国が確認していくと聞いている。

川島　光雅（かわしま　みつまさ）（松政クラブ）

- 公民館活動における指定管理者制度のあり方について
- **路面電車（LRT）導入計画の必要性について**

質問　なぜ今路面電車構想か　実施にあたってのクリアすべき課題は何か

①平成19年度から実施の「松江市総合計画」には路面電車の計画は載っていない。計画書には「バスを中心に公共交通網を整備する」となっている市政の継続性・計画性から外れるのではないか？
②事業実施において、どのような問題や課題を想定されているか？

回答　平成15年度の施政方針でLRTの研究に取り組むと言及し検討を始めた

①欧州の先進地の視察などを契機に平成15年度から検討委員会を立ち上げ、新交通システムの導入提言も受けながら継続的に検討を進めてきた。
②市民との合意形成。市民の移動の仕組みを変えるため、公共交通の役割分担の振り分け。道路の狭隘と交通渋滞の中で走行空間を確保することである。

田中　明子（たなか　あきこ）（公明クラブ）

- 児童虐待について
- 虫歯予防について
- ヒブワクチンの公費助成について
- **子宮頸（けい）がん予防ワクチンについて**
- うつ病対策について
- 出産育児一時金について
- ペットボトルキャップ収集について

質問　子宮頸（けい）がんワクチン接種に公費助成を

20から30歳代の若い女性に急増している子宮頸がんで年間3,500人が死亡。定期検診と予防ワクチン接種でほぼ100%予防できます。昨年から発売されたワクチンは、3回接種で約五万円もの費用がかかるので、ぜひとも公費助成を要望します。

回答　検診体制を充実　予防ワクチンは検討

今年度から子宮頸がんの細胞診とHPV検査の併用検診を実施することで予防に努めていきます。予防ワクチンについては、国の動向も踏まえ、また他市の状況を参考にしながら、今後検討していきたいと考えています。

畑尾　幸生（はたお　こうせい）　（市民クラブ）

- **教育問題、教育現場の負担軽減、学校事務・業務**
- 高次脳機能障害の評価外来の設置について
- 市職員は広報マンになるべし

質問　学校週５日制と新学習指導要領

最近、学校週５日制の是非が話題になっている。新学習指導要領で小中とも授業の標準時間数が増えるが、週５日制でこたえられるか。小中一貫教育は解決策となりうるか。現場の負担軽減のため、事務の効率化・改善に取り組まれたい。

回答　週５日制でも学力を身につけさせることは可能

すでに各学校が標準授業時間数について新指導要領の平均授業数以上を確保している。知・徳・体を身につけるため、今後は放課後・土曜日の活用を工夫しなければならない。小中一貫教育は新指導要領に対応するものとして進めており、そのねらいに沿うものと考えている。学校事務の効率化、事務職員のグループ化等で学校運営の効率化に努め、教員が児童生徒に向き合う時間を増やせると考えている。

宅野　賢治（たくの　けんじ）　（友愛クラブ）

- **人口減社会を見据えたマネジメント**
- 交通基本法推進と LRT 導入計画
- 子ども手当支給契機の滞納者対策等
- 今後の松江市総合計画はどうなるか
- 教職員の人事権並びに財源移譲
- 放課後児童クラブ

質問　公共施設マネジメント白書作成を提案

人口減少や財政状況を見据えながら今後 10 年間で市の真に必要な施設はどれなのか。建て直しや大規模改修の規模など現在保有の施設のあり方を見直す必要に迫られている。市も議員も市民も意識改革できるような松江市公共施設マネジメント白書を作成して、市民理解のもと公共施設の見直しを行うべきではないか。

回答　必要と認識しており調査研究を進める

白書を活用することで、市域の拡大、人口減少、高齢化、耐震化などの社会情勢変化に対応しながら、公共施設のあるべき姿に、適切な行政サービスの提供につなげていくことができる。市民ニーズに対応して時代に合った効率的、効果的市政運営を進めていくためにも白書の作成は必要と認識しており、先進地を参考に調査研究を進めたい。

石倉　徳章（いしくら　のりふみ）　（無会派）

- 東出雲町との合併について
- **合併算定替え終了時の交付税の減額と対応について**
- 国民健康保険について

質問　合併優遇策終了時の交付税減と対応は

前回の合併時も旧町村内で議論となった。次年度は合併７年目、注目しているが推定減額はいかほどか。

旧町村長等特別職、議員や職員減による人件費や各種経費の減は 25 億円から 30 億円はすでに出ているはず。また行政改革や合併効果等での減額の対応はどうか。

回答　交付税減は約四十五億円と試算　行財政改革借入残高の抑制に取り組む

優遇が保障されている交付税は、27 年度から５年間で縮減となる。約四十五億円の減と試算している。職員数の適正化、事業の民営化や外部委託、地方債発行の抑制等に取り組んだ結果、財政運営は黒字基調に転換した。行政改革の効果は八十数億円となり、子供の医療費の無料化やがん検診の充実等、市民サービスの向上に活用している。また財政調整基金の積み立てや地方債の繰り上げ償還の実施等、将来の財政負担の軽減に努めている。

野津　直嗣（のつ　なおつぐ）　（松政クラブ）

- 若者の定住について
- **若い人達への施策について**
- メディアリテラシーについて
- 今秋の松江市のイベントについて
- 観光施策について

質問　若い人達への施策について

まちづくりなど、さまざまな施策に対して、若い人達の意見を取り入れるために、青年（ワカモノ）議会の開催ができないか。またお母さん世代の意見を幅広く聞くためのシステムづくりを。

回答　青年議会を検討　子育て世代にはウェブ上での意見掲示板の設置を検討

青年（ワカモノ）議会、大変良い事だと思います。ぜひやってみたいと考えています。

お母さん世代の意見を聞く方法として、携帯電話を生かし、インターネット上でのＳＮＳや意見掲示板を設置するなど、早急に検討したいと思っています。

貴谷（きたに）　麻以（まい）　（松政クラブ）

- 子育て支援の取り組みとその効果
- がん検診の取り組み
- 高齢者福祉施策の円滑な実施について
- 空き家対策について
- LRT と都市計画の整合性は
- 歴史館建設の変遷とその価値について
- **松江のまちをどうしていかれたいのか**

質 問　アートや文化をよく知るディレクター集団が必要では

アートや文化に裏打ちされた美しい都市、おもてなしの心の深いこの松江です。このまちを壊さないためにも、何を失くしてはいけないのか、何が必要か、全体を把握した専門家集団が必要だと思いますが、まちづくりの戦略について伺います。

回 答　文化が仕事になるまちづくりを

文化と芸術に裏打ちされることはオンリーワンのまちづくりにつながり、必要だと思っています。水燈路のデザイナーの方やデザイン委員会の取り組みもしています。パリや台湾のことを考えても、専門家集団や芸術家集団を育て、仕事として活躍できる環境を作っていけば、アートや文化に裏打ちされたまちづくりができあがっていくのではと考えますので、ご支援をお願いします。

特別委員会行政視察報告

まちづくり対策特別委員会　（出川修治委員長）

平成 22 年 4 月 26 日～ 4 月 28 日

昨年の市議会改選後、初めて設置されたこの委員会は、松江をより魅力的なまちとするためにさまざまな角度からの議論を行っています。

松江市では、現在「まち歩き観光」、「歴史文化を活かしたまちづくり」の取り組みを進めていることを踏まえ、このたび先進地である 2 都市を視察しました。

- 国の「歴史まちづくり法」の認定を受け、官民一体で昔のまち並み保存に取り組んでいる熊本県山鹿市
- 「さるく」をテーマに「まち歩き観光」を成功させている長崎県長崎市

両市の市民参加のための取り組みは参考となるもので、松江市においても市民参加を盛り上げるための機運作りに努力していくべきだと思います。

長崎県長崎市

宍道湖・中海問題等対策特別委員会　（石倉茂美委員長）

平成 22 年 4 月 30 日・5 月 26 日

平成 18 年に発生した 34 年ぶりの洪水は、松江市が水害に弱い都市構造であることを再認識させ、大橋川改修による安心・安全のまちづくりに向けての取り組みがクローズアップされました。その間、中海干拓・淡水化事業が中止となり、平成 21 年 12 月に鳥取県の正式合意を受け、事業中断から実に 28 年ぶりに大橋川改修事業が再開される運びとなりました。

志津見ダム

宍道湖・中海問題等対策特別委員会では、斐伊川神戸川治水 3 点セットとされる尾原・志津見ダム、斐伊川放水路、宍道湖・中海を含む大橋川改修事業について検討するため、4 月 30 日には、①斐伊川放水路、神戸堰、新内藤川水門　②放水路ふれあいセンター　③志津見ダム　④尾原ダムを、5 月 26 日には、①宍道湖　②大橋川　③中海を船上から、国交省、県、市の説明で視察しました。

思ったよりおもしろい 白熱の本会議

感想をいただいています

議会を傍聴して

「大学の授業で議会傍聴に行きました。2回目です。」
「婦人会で議会傍聴に行きましたが、こんなに(議員が)調査、勉強して質問されているとは知りませんでした。」
「もっと多くの人が議会を聞きに行くといいと思います。」

「まつえ市議会だより」を読んで

「こういうものが欲しかったです。議会で何をしているか、これでようやく分かるようになりました。」

平成22年9月定例会日程

月	日	曜日	会議名
9	8	水	本会議(会期の決定・委員長報告・討論・採決・提案説明・決算特別委員会設置) 決算特別委員会(正副委員長互選)
	13	月	本会議(一般質問)
	14	火	本会議(一般質問)
	15	水	本会議(一般質問・議案質疑・委員会付託)
	16	木	決算特別委員会(質疑・分科会委託)
	17	金	総務委員会 教育民生委員会
	21	火	総務委員会 教育民生委員会、建設環境委員会現地視察
	22	水	経済委員会 建設環境委員会
	24	金	経済委員会 建設環境委員会
	29	水	決算特別委員会(分科会長報告・採決)
10	1	金	本会議(委員長報告・討論・採決)

議会Q&A

Q. 「請願」や「陳情」とは何ですか。誰が出せるのですか。

A. 「請願」や「陳情」は、議会に対して出す意見や要望書のことです。議員の紹介があるものが「請願」、ないものが「陳情」です。誰でも出すことができます。提出の仕方や様式その他については、議会事務局へお問い合わせください。

皆さんのご意見をお寄せください

〒690-8540 松江市末次町86
議会広報等特別委員会(松江市議会事務局)
電話 (0852) 55-5433
ファックス (0852) 55-5533
議会事務局メールアドレス giji@city.matsue.lg.jp
ホームページアドレス
http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/top.html

アクセスはこちら

松江市議会 検索

パソコンで「松江市議会」を検索

議会広報等特別委員会

委員長 南波 巌
副委員長 田中明子
委員 野津直嗣
委員 貴谷麻以
委員 野津照雄
委員 宅野賢治
委員 川井弘光
委員 片寄直行

編集後記

議員は、日頃から質問通告締切日などがあり、仕事柄締め切りには敏感だ。国会では、地域主権関連法案が先送りとなり、地方議員は気が抜けた人も多い。締め切りを延ばすのにも自ずと限度がある。

この広報の一番の悩みは、どうしても締め切りの先送りができない。市民への情報発信を少しでも早くし、新鮮な情報をお知らせする、その改善が必要であると感じているところです。

このたびで、第4号となった市議会だより。市民の皆さんは、この議会だよりをどう評価しているのか。どんな感想をお持ちなのか広報委員としては気掛かりなところです。ぜひ、各議員に、ご意見ご感想をお寄せください。

議会広報等特別委員会 宅野賢治